

# 日本気象学会

## 1991年度秋季大会

会期：1991年10月23日（水），24日（木），25日（金）

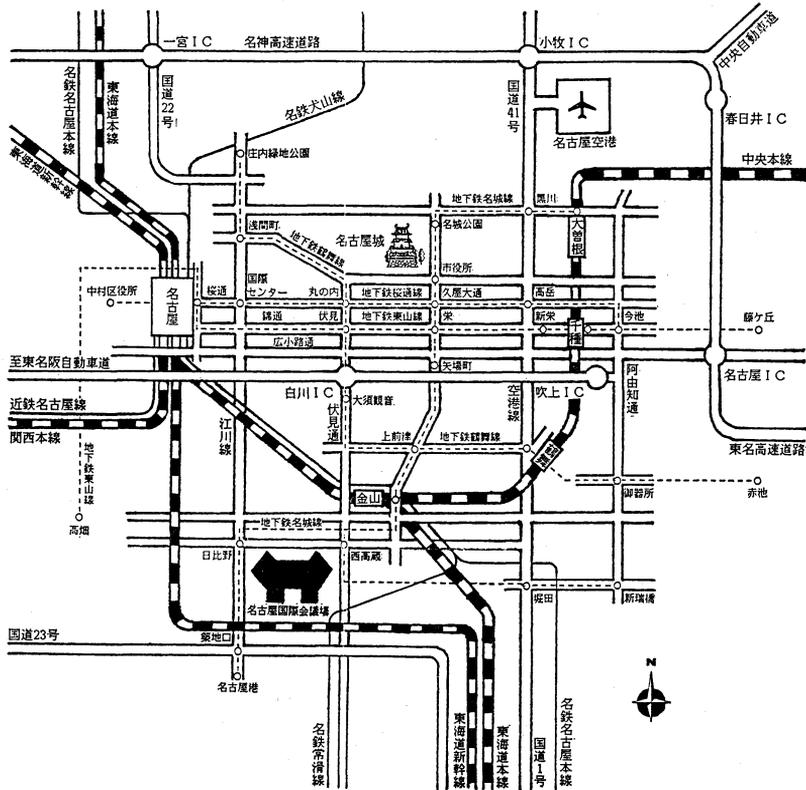
会場：名古屋国際会議場（白鳥センチュリープラザ）

〒456 名古屋市熱田区熱田西町1-1（電話 052-683-7711, Fax 052-683-7777）

### 目次

会場案内	607
大会行事予定表	608
シンポジウム内容	608
研究発表内容一覧表	609
研究発表題目	610～619

### 会場案内図



## 大会行事予定

1. 会場：名古屋国際会議場（白鳥センチュリープラザ）（電話 052-683-7711, Fax 052-683-7777）
  - A会場：会議室 402（4階）
  - B会場：会議室 403（4階）
  - C会場：会議室 304, 305（3階）
  - ポスター会場：A, B会場前（4階）
  - シンポジウム・懇親会場：レセプションホール（4階）
2. 会期：10月23日（水）、24日（木）、25日（金）

行事			
大会（研究発表）	(A, B, C会場)	10月23日（水）	09:30~12:30 13:30~16:00
大会（ポスター・セッション概要紹介）	(A会場)		16:10~16:30
大会（ポスター・セッション）	(ポスター会場)		16:30~17:30
大会（研究発表）	(A, B, C会場)	10月24日（木）	09:15~12:00
山本正野論文賞・堀内基金奨励賞授与、日本気象学会奨励金贈呈	(レセプションホール)		13:00~13:30
山本正野論文賞・堀内基金奨励賞記念講演	(レセプションホール)		13:30~15:00
シンポジウム	(レセプションホール)		15:30~17:30
懇親会	(レセプションホール)		18:00~20:00
大会（研究発表）	(A, B, C会場)	10月25日（金）	09:15~12:30 13:30~16:30

## シンポジウム「グローバル水循環とアジア」

1. 日時 大会第2日（10月24日）15:30~17:30
2. 会場 4階レセプションホール
3. 座長 田中 浩（名大・水圏研）
4. 話題提供者
  - 上田 豊（名大・水圏研）：アジア高山雪氷圏と水循環
  - 安成 哲三（筑波大・地球科学）：大気・海洋・大陸結合系としてのアジア
  - 加藤内蔵進（名大・水圏研）：東アジア乾燥地域周辺の水循環
  - 村上 勝人（気研・台風）：アジアモンスーン
  - 佐藤 信夫（気象庁・数値予報）：コメント
 最後に総合討論を行う。

なお、大会前日（10月22日）午後「メソ気象研究会」と「大気-海洋相互作用研究会」が、26日午前「TRMM」に関する研究会が、名大水圏研で開かれます。詳細については「天気」8月号（485, 508ページ）をご覧ください。

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には、日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は、利用許諾の申請は不要です。

## 1991年度秋季大会

( )は講演数(第1種-第2種と講演番号), —は座長

		A 会 場	B 会 場	C 会 場
10月23日 (水)	09:30~ 12:30	気候 I (6-0, A101~A106) —水越允治— エアロゾル (7-3, A107~A116) —石坂 隆—	気象力学 (12-5, B101~B117) —沼口 敦—	大気化学 (11-0, C101~C111) —広瀬勝己— オゾン (7-3, C112~C121) —中根英昭—
	13:30~ 16:00	台風・熱帯気象 (8-5, A151~A163) —山崎信雄—	気象教育 (2-1, B151~B153) —田平 誠— 地表面・大気相互作用 (9-0, B154~B162) —大畑哲夫— 接地境界層 (4-1, B163~B167) —山崎 剛—	火山噴火によるダスト (5-1, C151~C156) —岡田菊夫— 油田火災によるエアロゾル (4-3, C157~C163) —浅野正二—
	16:10~ 17:30	ポスター・セッション(概要紹介後講演) (P101~P113)		
10月24日 (木)	09:15~ 12:00	雲物理・積雲対流 I (11-4, A201~A215) —藤吉康志—	大気汚染・エクマン境界層 (6-1, B201~B207) —中西幹郎— 局地循環・小気候 (10-2, B208~B219) —佐藤純次—	気候 II (4-1, C201~C205) —増田耕一— モンスーンアジアの水循環 (8-2, C206~C215) —加藤内蔵進—
	13:00~ 15:15	山本正野論文賞・堀内基金奨励賞授与, 日本気象学会奨励金贈呈 山本正野論文賞・堀内基金奨励賞記念講演		
	15:30~ 17:30	シンポジウム「グローバル水循環とアジア」		
10月25日 (金)	09:15~ 12:30	雲物理・積雲対流 II (4-4, A301~A308) —大野久雄— 中小規模現象 I (2-3, A309~A313) —真木雅之—	大気大循環 (12-2, B301~B314) —谷貝 勇— 中層大気 I (4-2, B315~B320) —高橋正明—	大気電気 (4-0, C301~C304) —遠峰菊郎— 放射 (11-2, C305~C317) —真野裕三— 観測手法 I (3-1, C318~C321) —早坂忠裕—
	13:30~ 16:30	中小規模現象 II (18-1, A351~A369) —岩崎博之—	中層大気 II (2-8, B351~B360) —山中大学—	観測手法 II (11-5, C351~C366) —中村健治—

発表件数 258件(第1種講演 185, 第2種講演 60, ポスター 13)

注) 大会参加費 会員 2,500円, 学生会員 1,500円, 一般 2,500円

## 講演発表者へのお知らせ

1. A, B, C会場ともオーバーヘッド・プロジェクター使用可能です。
2. 講演および質疑時間は, 第1種講演はそれぞれ5分と2分以内, 第2種講演は10分と5分以内です。
3. スライドのマウントに番号をつけ, 上下をそろえて下さい。
4. ポスター・セッションの方法については「天気」5月号(p.345)を参照して下さい。  
またポスターに表題と発表者名を明記して下さい。なお, 今回は発表件数が多いので, 概要紹介は1件1分以内とします。

# 研究発表題目

(講演番号の\*印は第2種講演を, 発表者名の\*印は講演者を表す)

大会第1日(10月23日)9時30分~12時30分

## A会場 気候 I

座長 水越允治(三重大・人文)

- A101. 阿部恵子(環境生物研): 微生物を用いた環境調査方法の開発
- A102. 小田木俊一(名古屋市立若水中), 田平 誠(愛知教育大): 夏季における日本の体感温度指数の分布
- A103. 大河内康正(八代高専): 気候値を用いた夏期の短期予測
- A104. 新田 勲・\*吉村 純(気大): 全球地上気温の長期変動
- A105. 青木 孝(気象庁・長期予報): 最近の台風の上陸について
- A106. 木俣昌久(名古屋地台): 名古屋における短時間強雨発生頻度の長期的傾向
- エアロゾル

座長 石坂 隆(名大・水圏研)

- A107. 今須良一(公害資源研): 2チャンネル赤外衛星画像を用いたエアロゾル高濃度領域の検出
- A108. \*古賀聖治・田中 浩・皆巳幸也(名大・水圏研): 熱帯太平洋におけるMSA,  $\text{exSO}_4^{2-}$ ,  $\text{SO}_2$ の観測
- A109. 毛利英明・岡田菊夫・重原好次(気研・応用): 熱帯域で採集された海塩粒子の化学組成
- \*A110. 大竹 武(アラスカ大): 硫酸水溶液の凍結温度と晴天降水, 巻雲, 極成層圏雲の氷晶粒子の生成
- \*A111. \*李 東仁(釜山水産大), 菊地勝弘・上田 博・高橋暢宏・竹本明生(北大・理), 泉 裕明(北大・環境): 冬期季節風発達時の海岸でのエアロゾル数濃度の変動
- A112. \*三浦和彦(東京理大・理), 熊倉俊郎(梯CRC総研), 関川俊男(東京理大・理): 地球規模でのバックグラウンドエアロゾルの水平分布と大陸性エアロゾルの影響(その4)日本近海におけるAitken粒子の水平分布
- A113. 財前祐二・池上三和子・牧野行雄(気研・物理): 張掖におけるエアロゾル濃度の測定

—予備的観測の結果 1991.3.17—20—

- A114. \*西川雅高(国立環境研), 金森 悟・金森暢子(名大・水圏研), 溝口次夫(国立環境研): 黄砂エアロゾルによる $\text{SO}_2$ ,  $\text{NO}_x$ ガスの取り込みに関する予備的実験
- \*A115. 甲斐憲次(筑波大・地球科学), 下田晋也(筑波大・院), 阿保 真(都立大・工), 長沢親生(都立大・工), 河村 武(筑波大・地球科学), 光田 寧(京大・防災研): 可搬型ライダーを用いた, ゴビ砂漠における黄砂の空間分布に関する研究(3)観測結果
- A116. \*岩坂泰信・長谷正博・中田 滉(名大・STE研), 藤原玄夫(福岡大・理), 松永捷司(名大・STE研), 大和政彦(群馬大・教養), 森 育子・張 呈祥(名大・STE研): 1991年春の対流圏中・上層部の粒子層のライダー, 航空機観測

## B会場 気象力学

座長 沼口 敦(東大・理)

- \*B101. \*佐藤正樹・林 祥介(東大・理): 放射対流平衡における積雲対流に伴う質量フラックスについて
- \*B102. \*林 祥介・佐藤正樹・沼口 敦(東大・理): 対流と散逸~降水のある世界と降水のない世界
- B103. 沼口 敦(東大・理): 熱帯降水帯とハドレー循環の強度の相互関係について
- B104. \*石渡正樹・林 祥介(東大・理): 一様冷却する流体中に生じる2次元対流
- B105. \*松山勇二(九大・理), 大河内康正(八代高専), 宮原三郎(九大・理): 対流から発生する内部重力波に関する数値実験
- B106. \*玉木克美・宇加治一雄(福岡大・理): 傾斜した底をもつ回転水槽中に生じる傾圧波動
- B107. \*酒井 敏(京大・教養), 浦山慎一(京大・人間環境), 小林澄人(京大・理): 弦の共鳴問題と流れの安定性
- \*B108. \*小林澄人(京大・理), 酒井 敏(京大・教養): Eadyモデルの成長擾乱と「波の共鳴」

- \*B109. \*余田成男(京大・理), 山田道夫(京大・防災研): 回転球面上における減衰性2次元乱流の形態
- B110. \*山田慎治・余田成男(京大・理): 浅水系における地衡流調節
- B111. \*小出 孝・千葉 長・木田秀次(気研): 地形に強制されたプラネタリー波の碎波(3) ——ハドレー循環に対応する強制力がある場合——
- B112. 野田 彰(気研・気候): 2次元東西平均残差循環の3次元時間平均場への拡張
- B113. 和方吉信(東海大・海洋): 非線形大気海洋結合モデル
- \*B114. 向川 均(気大): 間歇性カオスの大域的構造
- B115. 金久博忠(気研・予報): 地形によって励起された流れに於ける周期解分岐について
- B116. 黒田友二(気大): アーノルド不変量に基づく非線形安定定理の拡張について
- B117. 水野芳成(気研・予報): 流体の解析力学

## C会場 大気化学

座長 広瀬勝己(気研・地球化学)

- C101. \*川上修司・近藤 豊・小池 真(名大・STE研): 航空機観測のための NO<sub>y</sub>, NO 同時測定器の開発
- C102. \*山本 晋・蒲生 稔・林 正康(公害資源研): 西表島周辺における CO<sub>2</sub> 飛行機観測
- C103. 中澤高清・\*森本真司(東北大・理), 青木周司(極地研), 田中正之(東北大・理): 日本上空における CO<sub>2</sub> の酸素同位体比 δ<sup>18</sup>O の変動
- C104. 中澤高清・\*村山昌平・田中正之(東北大), 青木周司・山内 恭・川口貞男(極地研), 清水明(国立環境研), 深堀正志・塩原匡貴・牧野行雄(気研): 航空機による南極上空における大気中の CO<sub>2</sub> 濃度の観測
- C105. \*千葉 長・山崎孝治(気研・気候): パッシブトレーサーの長距離輸送数値実験のアニメーション
- C106. 広瀬勝己(気研・地球化学), 高谷祐吉(神戸海洋), 青山道夫(長崎海洋): チェルノブイリ由来の放射性核種の降水による除去について
- C107. 原田 晃・\*時枝隆之・角皆静男(北大・水産): 函館市における降水中の Pb-210 と Bi-210 の周年観測
- C108. \*皆已幸也・竹中千里・B. I. T. Hidajat・石坂隆(名大・水圏研): 乗鞍岳における霧水の粒径別化学組成に関する観測—霧水の酸性化過程に着目して—
- C109. \*鶴田治雄(農環技研), 太田正雄(横浜市環境科学研), 石坂 隆(名大・水圏研): 乗鞍岳における夏期の霧水, 雲水と雨水中の水溶性成分とガス(SO<sub>2</sub>, O<sub>3</sub>)の測定(第3報)
- C110. \*丸田恵美子(慶大), 土器屋由紀子(気大), 林 和彦(函館海洋): 富士山における降水の化学成分
- C111. 田中 浩・古賀聖治(名大・水圏研), 林 政彦(名大・STE研): 西太平洋及び南大洋での大気DMS 濃度の分布

## オゾン

座長 中根英昭(国立環境研)

- C112. \*堤 之智・牧野行雄(気研・物理), 廣田道夫(気象庁・海洋): つくばにおけるオゾンとメタンの地表フラックス量の数値実験について
- C113. 佐藤公喜(愛知県公害調査センター, 名大・水圏研): 地上オゾンの約2日及び4日周期濃度変動
- \*C114. 佐藤公喜(愛知県公害調査センター, 名大・水圏研): 成層圏オゾンの対流圏における輸送過程(2)
- C115. \*伊藤 洋・小池 真・近藤 豊(名大・STE研): 二酸化塩素(OClO)の高精度測定用可視・紫外分光器の開発
- \*C116. \*C.X. Zhang・Y. Iwasaka(名大・STE研): Photochemical Processes in the Antarctic Winter Stratosphere: Effect of Solar Radiation Scattering by Polar Stratospheric Cloud Particles on Ozone Content
- C117. \*川平浩二(富山高専), 廣岡俊彦(気大): 南半球成層圏上部と下部における気温変化傾向の逆転
- C118. \*秋吉英治(福岡大・理), 瓜生道也(九大・理): オゾンの季節変動から見た子午面物質循環
- C119. \*中根英昭・林田佐智子・松井一郎・杉本伸夫・湊 淳・笹野泰弘(国立環境研): 国立環境研究所オゾンライダーによる成層圏オゾンの観測
- C120. 牛丸真司(名大・水圏研): オゾン全量の緯度分布に及ぼすプラネタリー波の影響

\*C121. Janusz W. Krzyscin (気研・物理) : STATIS-  
TICAL ANALYSES OF GLOBAL TOTAL

OZONE CHANGES FROM DOBSON MEA-  
SUREMENTS, 1964—1983.

大会第1日(10月23日) 13時30分～16時00分

A会場 台風・熱帯気象

座長 山崎信雄(気研・台風)

- A151. 天野 充(気象協会・静岡) : 清水港の副振動
- \*A152. \*比留間文彦・松田 学(千葉大), 土屋 清(帝  
京大), 鈴木 陸・竹内延夫(国立環境研) :  
TOMS データに現われる台風の特徴的なパタ  
ーンの種類
- A153. \*藤井 健(京都産業大・教養), 光田 寧・劉  
迎(京大・防災研) : 台風9019号の中心付近の  
地表風の特性
- A154. 邊田有理江(京大・防災研) : 台風9019号の眼  
の形成過程の解析
- A155. 山岬正紀・\*原 昌弘(気研・台風) : 熱帯低気  
圧と対流圏上部の寒冷核型低気圧の相互作用
- \*A156. \*岩崎俊樹・隈 健一・田宮久一郎・山田慎一・  
里田弘志(気象庁・数値予報) : 全球モデルに  
よる台風予報Ⅱ 高解像度モデルによる台風予  
報の可能性と問題点
- \*A157. \*高藪 縁(国立環境研), 新田 勅(気大) :  
熱帯太平洋における積雲対流活動の短周期変動  
——偏東風波動と混合ロスビー重力波——
- A158. \*高橋清利・村上勝人(気研・台風) : GMS-GOES  
結合データによる汎太平洋域における大規模雲  
域変動の解析——'84/85冬季[反エルニーニョ  
期]のケースを主として——
- \*A159. 西 憲敬(京大・防災研) : 熱帯域30-60日変  
動の活動強度と, SST, OLR, 平均風との関係
- A160. 山崎信雄(気研・台風) : 季節内変動スケール  
での太平洋高気圧と梅雨前線の関係
- A161. 山根理子(東大・理) : ECMWF の地表面フラ  
ックスデータの解析(第2報)——熱帯の季節  
内変動スケールの蒸発量変動——
- \*A162. \*長井嗣信・北村佳照・遠藤昌宏・時岡達志(気  
研) : ENSO サイクルの維持機構について
- A163. \*中村健治・岡本謙一・井原俊夫(通信総研),  
高松英男・梶井 誠(宇宙開発事業団) : 熱帯  
降雨観測衛星計画の現状

B会場 気象教育

座長 田平 誠(愛知教育大)

- B151. \*古川善朗(品川区立源氏前小), 島貫 陸・浦  
野 弘(東京学芸大) : 天気予報を取り入れた  
気象の学習—小学校第5学年「天気の変化」の  
学習を通して—
- \*B152. \*高橋庸哉(北海道教育大), 清水純一(北海道  
女短大) : 日常生活で用いられる気象用語につ  
いて
- B153. 山下 晃・沢田 章・立原隆弥・杉本 渉(大  
阪教育大) : 岩井のシャボン半球の実験の改良  
と利用法の研究
- 地表面・大気相互作用
- 座長 大畑哲夫(名大・水圏研)
- B154. \*越田智喜・加藤内蔵進・武田喬男(名大・水圏  
研) : 海洋上の cloud capped boundary layer  
の構造
- B155. \*秋野谷成徳・木下宣幸・藤谷徳之助(気研) :  
広域海面熱収支の自動観測(2)
- B156. \*塚本 修(岡山大・教養), 石田廣史(神戸商  
船大), 光田 寧(京大・防災研) : 本州南方海  
域における乱流輸送量の直接測定(2)
- B157. \*玉川一郎・光田 寧(京大・防災研) : HEIFE  
での乱流輸送量のテスト観測
- B158. \*塚本 修(岡山大・教養), 玉川一郎・光田 寧  
(京大・防災研) : 黒河流域の地表面からの乱流  
フラックスの観測(張掖) [HEIFE]
- B159. 松山 洋(東大・地理) : アマゾン川流域にお  
ける地表面-大気結合系の水収支
- B160. \*馬淵和雄・佐藤信夫(気象庁・数値予報), 三  
上正男(気研・応用) : 気象庁全球ルーチンモ  
デルによる接地境界層内諸要素の日変化予測に  
ついて—武蔵野丘陵における境界層観測データ  
による検証—
- B161. \*兒玉裕二・竹内由香里・石川信敬(北大・低温  
研) : 融雪期における盆地の夜間冷却層の解消  
について
- B162. \*山崎 剛・木村富士男・近藤純正(東北大・

理) : 融雪期の平地での大気昇温

#### 接地境界層

座長 山崎 剛(東北大・理)

- B163. \*石田廣史(神戸商船大), 山田道夫・光田 寧(京大・防災研) : 直交 WAVELET 展開による中規模周波数領域における風速のスペクトル解析
- \*B164. 横井武長(瀬戸短大) : ハイブリッド法による顕熱フラックスの測定
- B165. 大谷義一(森林総研), 渡辺 力(東北大・理) : 群落の波長別短波放射伝達モデル
- B166. 伊達 誠(気象協会・東海) : 急激な放射変動でみられた接地境界層の様相
- B167. \*藤谷徳之助・毛利英明(気研・応用) : 海上風の空間構造(4)

#### C会場 火山噴火によるダスト

座長 岡田菊夫(気研・応用)

- C151. 田中 実(気研・台風) : GMS 赤外画像でとらえたピナツポ火山の噴煙
- C152. 内野 修・\*永井智広・藤本敏文(気研・衛星観測) : ピナツポ火山噴火後の成層圏エロゾル層のライダー観測
- C153. \*浅野正二・内山明博・千葉 長(気研・気候) : 火山ダストの放射収支効果
- C154. 浅野正二(気研・気候) : ピナツポ火山ダストの粒径は均一か?—南西諸島におけるビショップ光環現象からの推定—
- C155. \*岩坂泰信・長谷正博・中田 滉(名大・STE研), 藤原玄夫(福岡大・理), 近藤 豊・小池真(名大・STE研) : ピナツポ火山噴火による成層圏エアロゾル層の変化

- \*C156. 林田佐智子・笹野泰弘・中根英昭(国立環境研) : ピナツポ火山噴火に伴う成層圏エアロゾル層の変動に関する研究(1) ライダーによる観測  
油田火災によるエアロゾル

座長 浅野正二(気研・気候)

- \*C157. 岩坂泰信・松永捷司・\*森 育子・張 呈祥(名大・STE研), 大和政彦(群馬大・教養), 長谷正博・中田 滉・金田昌廣(名大・STE研) : 1991年の春の航空機によるエアロゾル観測
- \*C158. \*大和政彦(群馬大・教養), 岩坂泰信(名大・STE研), R. Schnell・P. Sheridan(CIRES, Univ. Colorado), 西川雅高・溝口次夫(国立環境研) : クウェートの油田火災によって大気中へ放出されるエアロゾルーペルシア湾上空と日本上空のエアロゾルの比較—
- C159. \*内野 修・藤本敏文・永井智広(気研・衛星観測) : ライダーによる1991年春の上部対流圏エロゾル測定
- C160. 池上三和子・財前祐二・堤 之智・牧野行雄(気研・物理) : つくば上空におけるエロゾルの航空機観測
- C161. 堤 之智・牧野行雄(気研・物理), 廣田道夫(気象庁・海洋) : 平成3年4月に行った航空機観測によるオゾンとメタンの分布=湾岸油田火災影響調査=
- C162. 二階堂義信(気研・気候) : つくば市上空で観測されたエロゾルの発生源—数値シミュレーションによるトラジェクトリー解析—
- \*C163. 岡田菊夫・池上三和子・財前祐二(気研) : 対流圏中・上部で採集された煤を含む粒子について

### 大会第1日(10月23日) 16時10分~16時30分

#### A会場 ポスター・セッション概要紹介

座長 森 一正(気研・台風)

- P101. 高橋俊二(気研・応用) : 反応を含む移流拡散モデルの開発
- P102. \*斉藤和雄・猪川元興(気研・予報) : 非静水圧局地モデルによるメソ風系のシミュレーション—気象庁 JSM とのネスティング—
- P103. 近藤純正・\*桑形恒男・中園 信(東北大・理) : 気象官署データを用いた地域代表風速の推定
- P104. 牧原康隆・三角幸夫(気研・予報) : レーダー

アメダス雨量合成図について 内容と変遷

- P105. \*西澤慶一・田中正之(東北大・理) : 前線の形成に関する三次元数値実験(2)—波長と水蒸気の影響—
- P106. 耿 驥・藤吉康志・武田喬男(名大・水圏研) : 台風9109号のレインバンド中に現れた meso- $\gamma$ スケールの渦状擾乱のレーダーエコー構造
- P107. 三浦勇一(東京理大・理工) : 巨大な積乱雲を母体にして発生する中規模渦について
- P108. 秋山孝子(気研・衛星観測) : 梅雨期の日降水

## 量分布の特徴

- P 109. 秋山孝子(気研・衛星観測)：降水日の継続性からみた梅雨期と秋雨期の比較 その2 降水域の空間的変動
- P 110. 田中 実(気研・台風)：GMS 上層雲量によるインドネシア・オーストラリアにおけるモンスーンの季節変化
- P 111. 澤田可洋(静岡地台)：静止気象衛星画像によ

## る爆発噴煙の広域トラッキング

- P 112. \*田平 誠・野村雅裕(愛教大・地学), 加茂幸介・井口正人(京大・防災研)：1991年ピナトゥポ火山噴火に伴ったインフラソニック波
- P 113. 松井松長・近藤 哲(福山大・工), 玉重繁良(岡山職業訓練短大)：水平線近傍の赤外放射分布

## 大会第2日(10月24日)9時15分～12時00分

## A会場 雲物理・積雲対流 I

座長 藤吉康志(名大・水圏研)

- A 201. 楠 研一(新潟地台)：振動する角柱氷晶によるハローのシミュレーション
- A 202. 田中豊頭(気研・衛星観測)：スノーマシーンによる雪結晶(凍雨)の生成機構
- A 203. \*高橋忠司・中島文江(埼玉大・教育)： $-50^{\circ}\text{C}$ 付近におけるピラミッド面をもった氷晶の成長
- \*A 204. 佐藤 昇(大阪府科学教育センター)：核化様式の違いによる氷晶核数
- A 205. 高橋 劭(九大・理)：冬期北陸積雲の氷晶増殖過程
- \*A 206. 小西啓之(大阪教育大), 和田 誠(極地研), 遠藤辰雄(北大・低温研)：昭和基地の降雪エコーの特徴
- A 207. 和田 誠(極地研), 瀬古勝基(名大・水圏研), 山内 恭(極地研)：衛星および地上マイクロ波放射計を用いた昭和基地付近の雲水量の観測
- A 208. \*菅野正人(北大・環境), 菊地勝弘・遊馬芳雄(北大・理)：層積雲の雲頂の高度分布
- A 209. 石坂 隆・\*倉橋佳伸(名大・水圏研)：雲頂での混合と雲の消長との関係について
- A 210. \*水野 量・松尾敬世(気研・物理), 気象研物理・気候「雲と放射」観測グループ：雲頂温度 $-4^{\circ}\text{C}$ で氷化した層積雲の雲物理特性
- A 211. \*遊馬芳雄・菊地勝弘(北大・理)：氷晶スペクトロメーターによる降雪雲の内部構造
- \*A 212. \*石田晴彦・播磨屋敏生・菊地勝弘・上田 博・遊馬芳雄・高橋暢宏・清水収司・上野圭介(北大・理), 山中大学(京大・超高層), 渡辺 明(福島大・教育), 住 明正(東大・気候システム)：信楽における梅雨前線降雨の雨滴粒径分布の観測

- \*A 213. \*佐藤晋介(北大・低温研), 坪木和久(東大・海洋研), 藤吉康志(名大・水圏研)：鉛直ビームと VAD 観測による降雪粒子の Z-Vt 関係の決定
- A 214. \*竹本明生・上田 博・菊地勝弘(北大・理)：礼文島における降雪雲の発生・発達過程の観測—その4：マルチパラメーター法による雲雲の鉛直微細構造の解析—
- A 215. \*高橋 劭・久原和治(九大・理)：赤道ミクロネシアの積乱雲の降水機構

## B会場 大気汚染・エクマン境界層

座長 中西幹郎(気象協会)

- B 201. \*吉川友章(気研・応用), 藤村 満・稲吉 彰(日本公害防止技術センター), 小山博己(柴田科学), 須藤 悟(ヒマラヤ気象環境調査隊)：ヒマラヤ山稜端の気象と大気汚染
- B 202. 吉川友章(気研・応用), 中世古隆司(ヒマラヤ気象環境調査隊), \*土器屋由紀子(気大), 鶴見 実(東京工大)：ヒマラヤ山地の積雪・河川水・湖水の化学成分
- B 203. 佐藤純次(気研・応用)：パフの移流方向の濃度分布について
- \*B 204. 鶴田治雄(農環技研)：日本と関東地方における  $\text{NO}_x$ ,  $\text{SO}_2$  の排出量と降水による  $\text{NO}_3^-$ ,  $\text{nssSO}_4^{2-}$  の沈着量との関係
- B 205. \*永井晴康・光田 寧(京大・防災研), CHEN Jiemin(北京大)：河西回廊におけるプラネタリー境界層の予備観測
- B 206. 蒲生 稔(公害資源研)：砂漠の混合層
- B 207. \*蒲生 稔(公害資源研), P. Goyal・Manju Mohan・U.C. Mohanty(インド工科大, New Delhi)：New Delhi の混合層(その2)

**B会場 局地循環・小気候**

座長 佐藤純次(気研・応用)

- B 208. \*大和田道雄(愛教大・総合理学), 中村達博(名工大研): 東海地方の夏の気圧場における風系分布
- B 209. 鈴木力英(筑波大・地球科学): 関東地方における静穏出現の季節性・地域性
- \*B 210. 中西幹郎(気象協会): 雲を考慮した局地気象モデルの開発
- B 211. 余 偉明・増田幸一(計算流体力学研), G. Gross (Darmstadt Tech. Univ.), 植田洋匡(九大・応力研): 関東地方での大規模海陸風の数値シミュレーションと結果の動画像化
- B 212. \*木村富士男・桑形恒男・遠田正和(東北大・理): 峠を越える熱的局地風(2)—上層風観測—
- B 213. 小林哲夫・\*森 牧人・脇水健次(九大・農): 上空の風が斜面下降風に及ぼす影響について
- \*B 214. \*羽田野袈裟義(山口大・工), 住田裕志(五洋建設): 冷氣流の脈動に関する基礎的研究
- B 215. \*大屋裕二・小園茂平・中村泰治(九大・応力研): 大気現象研究のための密度成層風洞の試作
- B 216. 牛山素行(信州大・農): 1991年3月23日長野県に発生した雨水現象—雨氷現象による森林災害の研究 第3報—
- B 217. 中国山地の霧研究グループ(宮田賢二・太田雅子・若杉直美・木曾由佳・黒飛太佳恵(広島女大), 高山 大・上杉和哉・高橋清和・野々村努・引野知幸・吉田康夫(広島地台)), 山根高志(広島大)・鳥海和広(神戸大), 後藤邦昭・福山友善(三次高), 小丸幸則・森脇 貴・佐々木朋史(君田中): 中国山地の霧の研究(5)(三次盆地の霧の広域観測結果)
- B 218. 安藤敏幸・石川 斎・岡田哲也・岡田まゆみ・鬼頭伊智朗・杉江良基・杉江予支子・須田勝治・田口 静・田口由紀子・永尾栄子・日比禎紀・日比きよみ・古橋徳昭・古山享嗣・古山智百合・山口拓男(小気候団体研究会): 恵那地方の霧の特性
- B 219. 安藤敏幸・石川 斎・岡田哲也・岡田まゆみ・鬼頭伊智朗・杉江良基・杉江予支子・須田勝治・田口 静・田口由紀子・永尾栄子・日比禎紀・日比きよみ・古橋徳昭・\*古山享嗣・古山智百合・山口拓男(小気候団体研究会): 盆地霧の発生から消滅までのメカニズムについて

**C会場 気候 II**

座長 増田耕一(東大・理)

- C 201. 水越允治(三重大・人文): 近世小氷期末前後の時代における近畿・東海地方の冬の寒さ
- C 202. \*亀田貴雄・成田英器(北大・低温研), 庄子仁(富山大・地球科学), 西尾文彦・渡辺興亜(極地研): グリーンランド Site-J コアの氷板分布とそれより推定される過去 450 年間の夏の気温変動
- C 203. 酒井孝太郎・田中 浩(名大・水圏研): 氷期-間氷期変動のモデリング(2)—氷床-生物地球化学結合モデル—
- C 204. \*森山 茂(日大・生産工), 野本岳志(東大・農), 湖上晨一(日大・生産工): 閉鎖生態系を用いた, 地球環境の生成に関する研究(その1)
- \*C 205. \*田中 浩(修士2年), 阿部 豊(名大・水圏研): 火星極冠の消長と永続性

**モンスーンアジアの水循環**

座長 加藤内藤進(名大・水圏研)

- C 206. 松本 淳(東大・地理): アジア・オーストラリアモンスーン地域における季節変化
- C 207. \*寺尾 徹・村松久史(京大・防災研): 梅雨期における日本の降水量と 500 mb 循環場
- \*C 208. 平沢尚彦(名大・水圏研): シノプティック, メソスケール現象を通してみた梅雨の季節内変化—1983年を例として—
- C 209. 高橋日出男(広島大・総合科学): 梅雨季の中国大陸上における降水帯の再生とチベット高原周辺の温度場・循環場
- C 210. \*東 善広・加藤内藤進・武田喬男(名大・水圏研): 1991年6月下旬に形成された雲帯の特徴(Ⅰ)—雲帯中のメソスケールクラウド・クラスター群の evolution—
- C 211. \*平沢尚彦・加藤内藤進・武田喬男(名大・水圏研): 1991年6月下旬に形成された雲帯の特徴(Ⅱ)—雲帯の変化と大気循環場—
- \*C 212. 加藤内藤進(名大・水圏研): 亜熱帯高気圧域の水蒸気場の維持と浅い対流(1988年7月前半の事例解析)
- C 213. 児玉安正・下條 肇・鈴木英人・佐藤栄作(弘前大・理): 暖候期のオホーツク海・北西太平洋の雲と地表面日射量の広域分布
- C 214. \*加藤内藤進(名大・水圏研), 松本 淳(東大・

地理), 岩崎博之(名大・水圏研): 夏期中国大陸の前線帯隣接域における広域地表面過程と水循環(その2)

C215. 上野健一(筑波大), 白岩孝行・山田知充(北大・低温研): ネパールヒマラヤにおける降水環境

## 大会第3日(10月25日) 9時15分~12時30分

### A会場 雲物理・積電対流 II

座長 大野久雄(気研・衛星観測)

- A301. \*真木雅之・大倉 博(防災科研・つくば): 3次元グラフィックコンピュータを使って眺めた線状降雪雲の3次元構造
- \*A302. 中井専人(防災科研・つくば): 1990年2月3日の寒冷前線の通過時に出現した降雪エコーの内陸における特徴
- \*A303. \*高橋暢宏・上田 博・菊地勝弘(北大・理): ドップラーレーダーで見た降水雲中に発生したK-H不安定波について
- A304. \*真木雅之・中井専人・八木鶴平・中村秀臣(防災科研・つくば): 降雪雲からの下降流と突風の形成
- A305. \*山田芳則・松尾敬世・村上正隆・水野 量・榊原 均(気研), 中井専人・真木雅之(防災科研・つくば): Lモード降雪雲内の気流構造—1991年2月5日の事例解析—
- \*A306. \*吉松和義・高橋 劭(九大・理): 雲のレインバンドへの組織化—数値実験
- A307. \*三隅良平・武田喬男(名大・水圏研): 積乱雲群の3次元数値モデリング(Ⅲ)—ライン状およびセル状対流系の形成過程—
- \*A308. 猪川元興(気研・予報): 対流性降雪雲の陸面・山岳による変質に関する数値実験

### 中小規模現象 I

座長 真木雅之(防災科研・つくば)

- \*A309. 清水収司・上田 博(北大・理), 城岡竜一(北海道農試), 渡辺 明(福島大・教育), 住 明正(東大・気候システム), 深尾昌一郎(京大・超高層): 信楽における梅雨前線の構造の観測(2)—1990年7月12日~13日の事例—
- \*A310. \*渡辺 明(福島大・教育), 深尾昌一郎・山中大学(京大・超高層), 住 明正(東大・気候システム), 上田 博(北大・理): 大気下層に出現した ROTOR 循環について
- A311. 渡辺 明(福島大・教育): 冬季季節風吹き出しに伴う擾乱について

- A312. \*大野久雄・鈴木 修・葦沢 浩(気研・衛星観測), 田中芳男(岡山地台), 吉野勝美(全日空), 岩下晴彦(日本航空): 『ガストフロントの通過』と『高い, マイクロバースト発生の可能性』—1991年6月27日午後岡山で突風, 電柱18本倒壊—
- \*A313. \*鈴木 修・大野久雄(気研・衛星観測): 1990年12月11日千葉県茂原市と銚子市の竜巻に関連したメソ及びミソサイクロンの解析

### B会場 大気大循環

座長 谷貝 勇(気研・気候)

- B301. 中島健介(東大・理): 湿潤対流大気における平均湿度の維持についての思考実験—「積雲」の寿命が有限であることの効果—
- B302. 村松久史(京大・防災研): 圏界面での放射束密度と地上気温(2)—晴天の場合の季節変化—
- \*B303. 田中正之・\*鈴木恒明(東北大・理), 中島映至(東大・気候システム): 気候変動における絹雲の微物理のフィードバック効果
- B304. 野田 彰(気研・気候), \*高田久美子(東京電力・技術研): Arakawa-Schubert のパラメタリゼーションを用いた1次元放射対流平衡大気(Ⅱ)
- B305. 杉 正人・谷貝 勇(気研・気候): 大気大循環モデルにおける Cloud Radiative Forcing
- B306. \*二階堂義信・時岡達志(気研・気候): 海水氷接度を考慮した大気大循環モデル—北極海洋・海水氷混在域が大気大循環に及ぼす影響—
- B307. \*斎藤正彦(東京電力・技術研), 時岡達志(気研・気候): 二酸化炭素増加に伴う海・陸スケールでの気候変化の特徴(第2報)
- B308. \*行本誠史・時岡達志(気研・気候): 大気太平洋結合モデルにおける海洋に入射する太陽放射の影響に関する実験
- B309. 時岡達志・鬼頭昭雄・\*中川慎治(気研・気候): 大気海洋結合モデルにおける大気の大周期変動
- B310. \*佐藤康雄・千葉 長・柴田清孝(気研・気候), 重久陽亮(気象庁・数値予報): 永続する1月

の条件での AGCM 長期間積分に現れるブロッ  
キング現象の解析 (第1報)

- \*B311. 王 亜非 (筑波大・地球科学) : 中・高緯度か  
らのロスビー波伝播と梅雨前線帯について
- B312. 磯部英彦 (名古屋地台) : 熱帯対流活動の東西  
変動と日本の冬の天候 (第2報)
- B313. 関根義彦 (三重大・生物資源) : 親潮の異常な  
南下と大気大循環の変動
- B314. \*菊地直吉・内藤勲夫 (国立天文台) : 気象庁全  
球客観解析データに基づく水蒸気質量変動の見  
積もり

#### 中層大気 I

座長 高橋正明 (東大・気候システム)

- B315. 丸山健人 (気研・予報) : 成層圏赤道波の鉛直  
波長・周期スペクトル: シンガポール 1989—  
1990
- B316. 堀之内 武・塩谷雅人 (京大・理) : 赤道ケル  
ビン波の活動性に見られる長周期変動
- B317. \*津田敏隆・村山泰啓・深尾昌一郎・加藤 進  
(京大・超高層) : インドネシアにおける赤道域  
大気波動のラジオゾンデ観測
- \*B318. 高橋正明 (東大・気候システム), B.A. Boville  
(NCAR) : 準2年振動 (QBO) の3次元モデ  
ル: I —QBO をだすようにしてだしたモデ  
ル—
- B319. \*神沢 博・藤井良一 (極地研), 山崎孝治 (気  
研・気候), 山中大学 (京大・超高層) : 南極域  
成層圏を周回したポーラー・パトロール・バル  
ーン (1990年12月—1991年1月の実験) : 気象  
庁客観解析データに基づく空気粒子軌跡との比  
較
- \*B320. \*下田直樹・塩谷雅人・廣田 勇 (京大・理) :  
南半球成層圏循環場の年々変動

#### C会場 大気電気

座長 遠峰菊郎 (防大・地球科学)

- C301. \*河崎善一郎・松浦虔士 (大阪大・工), 山田  
勝・園井康夫 (関西電力) : SAFIR による雷  
活動のモニタリング
- C302. \*遠峰菊郎・道本光一郎・緒方秀明 (防大・地球  
科学), 郷津寿夫・金尾誠一 (北陸電力・技術  
研) : 北陸, 冬季雷雲内の電界分布
- C303. 緒方秀明・遠峰菊郎・道本光一郎・阿部成雄  
(防大・地球科学), 長田正嗣 (日本無線㈱) :

冬季北陸における航空機被雷地点付近の地上電  
界値の解析

- C304. \*道本光一郎・緒方秀明・遠峰菊郎 (防大・地球  
科学), 長田正嗣 (日本無線㈱) : 冬季落雷前後  
におけるレーダエコーの変化の特徴

#### 放 射

座長 真野裕三 (気研・気候)

- C305. 武田喬男・\*松月 昇・加藤内蔵進 (名大・水圏  
研) : 寒気吹き出し時の雲群の特徴とバルクな  
放射特性
- C306. 山内 恭 (極地研), 村田昭彦 (札幌管区) :  
NOAA AVHRR による南極大陸上の雲の放射  
効果 (序)
- C307. 中川清隆 (上越教育大・自然) : 南極リュツォ・  
ホルム湾及びその周辺の地表面アルベド (全波  
長域) 分布の NOAA/AVHRR からの推定の  
試み
- C308. \*石川信敬・児玉裕二・中林宏典 (北大・低温  
研) : 地表面の状態変化に伴う放射特性の変  
化
- C309. \*S. Kaloka (LAPAN, Indonesia), Y. Iwasaka・  
M. Nagatani・H. Nakada (名大・STE 研) :  
Measurements of Solar UV-B at Toyokawa,  
Japan —Factors controlling UV-B Intensity—
- C310. 廣野幹彦 (新潟大・工) : Line coupling を考慮  
した band shape
- C311. 内山明博 (気研・気候) : 衛星の 10  $\mu\text{m}$  Split  
Window について
- C312. 柴田清孝・内山明博 (気研・気候) : 不均質大  
気における 4-stream 近似の精度について
- C313. \*真野裕三・内山明博 (気研・気候) : 大規模非  
球形粒子の散乱特性の計算について
- \*C314. 小林隆久 (気研・応用) : 有限雲群の近赤外反  
射特性
- C315. \*真野裕三・塩原匡貴・浅野正二・内山明博 (気  
研・気候) : 航空機観測による積雲群の短波放  
射特性の解析
- C316. \*内山明博・浅野正二・深堀正志 (気研) : 巻層  
雲の雲物理量と赤外 10  $\mu\text{m}$  域の放射 (放射の  
観測値と理論計算値の比較)
- \*C317. \*早坂忠裕・久慈 誠・田中正之 (東北大・理) :  
衛星観測と航空機観測から得られた雲の放射特  
性 (WCRP「雲と放射」航空機観測より)

## 観測手法 I

座長 早坂忠裕 (東北大・理)

- C318. 高島 勉・増田一彦・F.M. Breon (気研・衛星観測) : 大気上端の放射輝度に及ぼす異なった二つの半無限 Lambert 面の影響
- C319. \*田口彰一・山本 晋・林 正康(公害資源研), 尾形和彦(緯数理計画) : セミラグランジュ法

を用いた大気の正味加熱冷却率の推定

- C320. \*木津昭一・川村 宏(東北大・理) : GMS 3号 VISSR 可視センサの経年劣化について
- \*C321. \*松本雅雄(九州工大), 呉 尚謙(筑波大), 竹内延夫(国立環境研) : 水平均質光路における多重散乱の視程への影響

## 大会第3日 (10月25日) 13時30分~16時30分

## A会場 中小規模現象 II

座長 岩崎博之 (気研・台風)

- A351. 横田寛伸(大阪管区) : 大阪湾でみられた前線降雨帯の back building
- A352. 中務信一(名古屋地台) : 寒冷前線の通過について(平成2年12月11日の事例)
- A353. \*藤部文昭・田畑 明・赤枝健治(気研) : 台風8922の北東側における寒冷前線先端の局所的变化
- A354. 高藪 出(気研・応用) : 寒冷前線近傍の K-H波
- A355. \*野口晉孝・青梨和正・小泉 耕(気研・予報) : 北東気流雲の発生に及ぼす地形および海面水温の影響についての予報実験
- A356. \*小泉 耕・野口晉孝・加藤政勝(気研・予報) : 北東気流型悪天を予想するエキスパートシステムの試作と検証
- A357. 江上 公(東京管区) : 高気圧の南縁に発生する雲域と JSM 上昇流について
- A358. 永田 雅・青梨和正(気研・予報) : 南下中の梅雨前線近傍の中規模降水系—超細格子モデルを使った事例解析—(序報)
- A359. 栗原和夫・\*郷田治稔(気象庁・数値予報) : 客観解析で見た梅雨前線の東シナ海下層での構造
- A360. 二宮洸三(気象庁・海洋気象部) : 主低気圧北西~西北西の Polar Low Cyclogenesis
- \*A361. 三浦勇一(東京理大・理工) : 中規模渦状擾乱の構造及び擾乱を包む成層大気の構造(北海道北西部の例)
- A362. \*藤吉康志(名大・水圏研), 児玉裕二(北大・低温研), 坪木和久(東大・海洋研), 西村浩一・遠藤辰雄(北大・低温研), 小野延雄(極地研) : 中規模渦状擾乱の構造と冷気流が中規模渦状擾乱に及ぼす効果—冬季北海道の礼文島と

宗谷岬で行ったゾンデ2点同時観測—

- A363. 永田 雅(気研・予報) : 日本海寒帯気団収束帯(JPCZ) 帯状雲中の中規模渦—超細格子モデルによる予報実験—(序報)
- A364. 大草直子・岩田 勲(名古屋地台) : 季節風下の東海地方の降雪
- A365. 藤原滋水・木村竜治(東大・海洋研), 内藤成規(気象衛星センター) : 済州島風下におけるカルマン状雲列の解析結果(発生から消滅までの2つの例について)
- A366. 和田美鈴(気研・予報) : 非静力学モデルによる Frontogenesis の数値実験
- A367. 猪川元興(気研・予報) : 静水圧モデルの中にネスティングされた非静水圧モデルに対する気圧の初期場の与え方
- A368. \*佐々木秀孝・小出 孝・木田秀次・千葉 長(気研) : 局地気候モデルの開発(3) —降水量予想の統計的な検証—
- A369. \*木田秀次・佐々木秀孝・小出 孝・千葉 長(気研) : 局地気候モデルの開発(4) —準基底の依存性について—

## B会場 中層大気 II

座長 山中大学(京大・超高層)

- B351. 柴田清孝(気研・気候) : 対流圏の温度変動が成層圏の RADIATIVELY DETERMINED TEMPERATURE に及ぼす影響について
- \*B352. \*吉田容子・宮原三郎・三好勉信(九大・理) : 中層大気大循環モデルでシミュレートされた大気潮汐振動(2) Non-migrating tide の振る舞いについて
- \*B353. \*前川泰之(大阪電通大), 山本 衛・深尾昌一郎・津田敏隆・山中大学・中村卓司・加藤 進(京大・超高層), R.F. Woodman(ペルー地球物理研) : ヒカマルカラーダーによって明らか

にされた上部成層圏の鉛直風速振動の特性

- \*B 354. \*津田敏隆・村山泰啓(京大・超高層), 小山孝一郎(宇宙科学研), 中村卓司・加藤 進・深尾昌一郎(京大・超高層), D. Offermann(ウッパターナル大(独)): DYANA 観測による成層圏界面付近の大気重力波の振幅変化
- \*B 355. 村山泰啓・津田敏隆・野村剛彦・中村卓司・加藤 進・深尾昌一郎(京大・超高層): MU レーダー観測による下部成層圏中の重力波活動度の季節変化
- \*B 356. 佐藤 薫(京大・理): 下部成層圏慣性重力波の季節変化(1)
- \*B 357. 山中大学(京大・超高層): 観測に基づく中層大気重力波ドラッグのパラメタリゼーション
- B 358. \*佐藤 薫(京大・理)・山田道夫(京大・防災研): 対流圏・下部成層圏温度擾乱の wavelet 解析(1)
- \*B 359. R. Wilson・T. Tsuda・Y. Murayama(京大・超高層): Two Dimension Gravity wave Spectrum in the Middle Atmosphere: Observation and Interpretation
- \*B 360. \*橋口浩之・深尾昌一郎・山中大学・山本 衛・加藤 進(京大・超高層): MU レーダー観測による対流圏~下部成層圏乱流構造定数の季節変化
- C会場 観測手法 II**  
座長 中村健治(通信総研)
- \*C 351. \*竹内延夫(国立環境研), 増崎 宏(農工大), 吳 尚謙(筑波大): 近赤外レーザーヘテロダイン水蒸気センサーの検討
- C 352. \*内野 修・永井智広・藤本敏文(気研・衛星観測): ライダーによる水蒸気分布の遠隔測定—ラマン散乱法の基礎実験—
- \*C 353. 深尾昌一郎(京大・超高層), M. F. Larsen・R.D. Palmer(クレムソン大(米)), 山本 衛・津田敏隆・加藤 進(京大・超高層): MU レーダーによる Oblique Spaced Antenna 法を用いた渦度の観測
- C 354. \*中村健治・増田悦久・井原俊夫・岡本謙一(通信総研), 大西 勉(明星電気): 低層大気観測用レーダの開発—その2—
- C 355. \*井川貴史・益倉克成・深見和彦(土木研), 水野 量・松尾敬世(気研・物理): 直交二偏波レーダによる降水粒子の推定
- C 356. \*前川泰之(大阪電通大), 園井康夫(関西電力), 深尾昌一郎(京大・超高層), 河崎善一郎(大阪大・工), 高橋 勅(九大・理), 益倉克成(土木研): 二重偏波レーダーによる冬季雷雲降水粒子分布の連続観測
- C 357. 花土 弘・佐竹 誠・大崎祐次・\*中村健治(通信総研): 2偏波レーダによる降雨観測
- C 358. 横山辰夫(福岡管区): MTI を装備した気象レーダーで観測される非降水エコーの出現特性
- \*C 359. 木邨 弘・佐藤栄一郎・斉藤忠博・佐伯準司・\*青木 元・高野洋雄(舞鶴海洋), 黒田雄紀(気象衛星センター), 岸田泰寛(鳥取地台), 藤本敏文(気研・衛星観測): レーダーエコーの移動による海上風の推定
- C 360. 堀江宏昭・中村健治(通信総研): 航空機搭載映像レーダによる海面上の降雨観測
- \*C 361. \*A. Belotsercovsky・H. Uyeda・K. Kikuchi(北大・理): An approach to a very-short-term forecasting—Time series and radar images—
- \*C 362. \*赤井幸夫・朝倉一雄(電力中研), 片寄直人(東京電力): ドップラー音波レーダの実用性評価
- C 363. 楠 研一(新潟地台): スカイメッセージによる大気の可視化の可能性
- C 364. \*一ノ瀬俊明・片山浩之(東大・工), 伊藤政志(東京都環境科学研): バイポール2地点観測による鉛直流の計算
- C 365. 光田 寧・玉川一郎・\*今木和裕(京大・防災研): 新しい乱流輸送 CAO システム
- C 366. \*寺田浩一郎(電子技術総研), 青島 武・近藤新吾(英弘精機株式会社): 直達日射量観測波形から見た回転式日照計の誤差